

1. <施策の概要>

基本理念	人と豊かな自然環境の共生をめざすまちづくり	統括課	健康福祉環境部 環境推進室
基本方針	環境保全		
施策名	環境衛生	関連課	
方針・目標等	◆衛生環境整備による住環境の向上。 ◆住民の衛生環境意識の向上。 ◆循環型社会の実現。		
実施内容	◆ごみの収集。 ◆リサイクル事業。 ◆環境汚染対策。 ◆環境保全。		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較 団体名/実績/年度		算式・引用等			
①	○ 住民1名が一日に出すごみの量	g/名・日	府内平均 914	21	事業系ごみ含む			
②	○ ごみの資源化率	%	府内平均 12.9	21	(資源化量+集団回収量)/(ごみの総処理量+集団回収量)			
③	住民1名が一日に出す燃やすごみの量	g/名・日			事業系ごみ含む			
④	廃家電の不法投棄台数	台						
⑤	クリーン・リサイクル運動の参加者数	名						
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		-	-	853.6	850.2	846.8	843.4
	実績		860.2	856.2	809.9	813.4		
②	目標		-	-	31.1	31.1	31.8	31.8
	実績		28.7	29.4	28.3	28.3		
③	目標		-	-	539.9	536.7	533.5	533.5
	実績		555.2	543.2	522.5	547.2		
④	目標		-	-	50	50	40	40
	実績		41	50	28	64		
⑤	目標		-	-	14,443	15,000	15,000	15,000
	実績		15,013	12,771	14,530	14,073		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

- ・住民1名が一日に出すごみの量は、府内及び全国の平均値を下回っており、ごみの資源化率は同平均値を上回っている。
- ・燃やすごみは、平成20年度以降ごみ袋の透明・半透明化等により、年間1,200t超の減量効果があり、現在も家庭系では同水準を維持している。
- ・廃家電の不法投棄は、地上デジタル放送移行に伴いテレビの不法投棄が大幅に増加したが、今後減少に転じると考えられる。
- ・クリーン・リサイクル運動参加者数は、前年度比で若干減少したが活動は各地域に定着している。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

- ・ごみの減量・リサイクル率の向上には、分別数を増やしさらに徹底を図ることが必要になるが、現状の9種類の分別に対しても年配の方には「わかりにくい」、「面倒」といった意見も有り、また、収集・処理に関し新たな場所や費用面でのコストアップが予想されるため、いかにこれらの向上を図っていくか十分な検討が必要である。
- ・ルールのさらなる厳格化は、不法投棄等を招くことが予想され単純な分別方法の啓発だけではなく、住民自身のマナーや意識の向上を図ることが求められる。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 /事業名 /種別/決算書説明頁	事業費(人件費含む)/事業費のみ/事業費一財 <単位:千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	環境推進室	-	16,719	13,218	11,465	13,203	13,203
	廃棄物減量・リサイクル推進事業	9,663	10,191	7,844	6,651	8,389	8,389
	一般事業 161	-	9,934	4,487	6,199	8,078	8,078
2	環境推進室	-	304,166	278,017	287,541	302,918	290,918
	ごみ収集処理	264,426	261,858	241,745	246,621	261,998	249,998
	一般事業 167	-	222,030	209,207	216,633	246,840	246,840
3	環境推進室	-	2,392	5,566	7,973	8,095	8,095
	環境衛生一般経費	202	219	192	1,597	1,719	1,719
	一般事業 159	-	190	192	1,597	1,719	1,719
4	環境推進室	-	3,156	4,332	7,122	7,355	7,355
	動物管理指導	530	418	553	690	923	923
	一般事業 161	-	0	0	0	30	30
5	環境推進室	-	9,981	9,234	10,976	11,962	11,962
	環境汚染対策事業	3,709	3,292	5,455	6,162	7,148	7,148
	一般事業 165	-	451	3,223	3,113	4,468	4,468
6	環境推進室	-	98,979	97,903	112,109	115,048	115,048
	し尿処理	100,913	97,532	96,308	107,425	110,364	110,364
	一般事業 169	-	38,072	36,848	107,425	39,527	39,257
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- ・クリーン・リサイクル運動は20年以上の実績があり、地域に定着している。
- ・ごみ袋の透明・半透明化等により、ごみ減量化・リサイクル率向上に一定成果が見られる。
- ・害虫駆除や空き地の除草対応、狂犬病予防集合注射等を実施し、生活環境の保全に努めた。
- ・新規進出企業や既存企業に対し騒音・排出物・使用薬品等を審査し、環境保全・公害防止に努めた。
- ・し尿処理に関し、下水道の接続が進み、し尿・浄化槽汚泥の処理実績が年々減少している。
- ・環境基本条例に基づき環境基本計画を進めるにあたり、住民・各種団体との協働体制として、環境推進委員会及び環境プラットホームを立ち上げた。

5. <施策の今後の方向性>

- ・一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、燃やすごみの水切り、堆肥化の推進、古紙類の分別徹底、その他の品目も一層の減量化に取り組み、平成37年度に発生抑制率5%を目指すとともに、新クリーンセンターの早期建設に向け、相楽郡西部塵埃処理組合・木津川市と協議・連携を深める。
- ・クリーン・リサイクル運動の浸透により、地域住民の自主的な環境美化運動に支援していく。
- ・生活環境の保全に向けて、浄化槽の適正利用やあき地の適正管理、そして狂犬病注射率の向上を図るほか、7月に施行した「精華町まちをきれいにする条例」の周知・啓発に努める。
- ・学研地区への新規進出企業について環境保全協定の締結し、今後も公害防止に努める。
- ・環境基本計画に基づき、住民や各種団体等との推進体制を強化を図り、様々な環境施策の推進に努める。